

漁船リース事業（浜の担い手、構造改革）

— 優良事例集 —

特定非営利活動法人 水産業・漁村活性化推進機構
(漁船リース班)



定置網漁船



かつお一本釣り漁船



かつお、金目漁船

- | | | |
|----------------|--------------------|--------|
| ① 北海道 舘山哲也さん | 〈ホタテ養殖・中古船・16 トン〉 | ・・・ 2 |
| ② 高知県 濱場得弘さん | 〈養殖業・中古船・17 トン〉 | ・・・ 3 |
| ③ 福岡県 畑中省吾さん | 〈刺網・新船・4.8 トン〉 | ・・・ 4 |
| ④ 千葉県 中原敬司さん | 〈かつお釣り・新船・7.9 トン〉 | ・・・ 5 |
| ⑤ 愛知県 北川壽一さん | 〈底びき網・新船・14 トン〉 | ・・・ 6 |
| ⑥ 京都府 本藤 靖さん | 〈釣りなど・新船・2.2 トン〉 | ・・・ 7 |
| ⑦ 静岡県 畑 藤夫さん | 〈定置網・中古船・9.7 トン〉 | ・・・ 8 |
| ⑧ 宮崎県 宇戸田為二さん | 〈定置網・新船・9.7 トン〉 | ・・・ 9 |
| ⑨ 山形県 (有) 仁三郎 | 〈定置網・新船・12 トン〉 | ・・・ 10 |
| ⑩ 宮崎県 (有) 福德水産 | 〈かつお釣り・中古船・119 トン〉 | ・・・ 11 |
| ⑪ 大阪府 善野晴夫さん | 〈底びき網・新船・9.7 トン〉 | ・・・ 12 |
| ⑫ 長崎県 吉田和彦さん | 〈一本釣り・中古船・4.9 トン〉 | ・・・ 13 |
| ⑬ 静岡県 網代漁業(株) | 〈定置網・新船・19 トン〉 | ・・・ 14 |
| ⑭ 熊本県 植村隆基さん | 〈海苔養殖業・新船・4.2 トン〉 | ・・・ 15 |
| ⑮ 青森県 逢坂勇吉さん | 〈ほたて養殖業・新船・4.4 トン〉 | ・・・ 16 |
| ⑯ 高知県 山上俊也さん | 〈一本釣り・中古船・4.9 トン〉 | ・・・ 17 |

家族が力を合わせ、ほたて貝養殖に取り組む！

1. リース漁船のポイントとこれからの漁業について

長年に亘り共同経営で漁業を営んでおりましたが、父が急逝したことがきっかけで共同経営を解消しました。その際、漁船を手放す事になりましたが、漁協の方から漁船リース事業の制度があることを聞き応募したところ、事業が承認され漁船を取得し漁業を続けることができました。

リース漁船は、機関換装による船速向上で漁場までの移動時間が短縮され、また、家族総出でほたて稚貝の放流・分散作業を行うことで人件費等コスト削減が図れました。

漁船リース事業は漁業者の目線から考えると革新的な事業であり、私のような漁船を所有していない人達の強い味方です。更に漁船の取得費・漁労機器の更新を含む改修費が事業に組み込まれていることはありがたいことです。

今後はリース漁船を使い、地元のベテラン漁業者の指導を受けながら、今まで以上に品質の良いほたて稚貝の生産に取り組んで行きたいと思えます。

父の代から私に受け継がれたものを今後は跡継ぎである息子に繋げ、前浜の中心的な存在になってもらうことを期待しています。



▲大漁旗を揚げた第11翔徳丸

【27補正予算】

借受者：館山哲也さん（44歳）

所属：北海道 雄武漁業協同組合

漁業種類：刺網・はえなわ・採介藻漁業

漁船名：第11翔徳丸（16トン）

中古船・FRP漁船

リース開始日：平成29年3月

2. 浜プランに沿った取り組みについて

リース漁船を使い、雄武漁協の主要漁業であるほたて桁曳網漁業を支えるほたて貝養殖漁業の品質向上・活力あるほたて稚貝の生産に努めており、底建網漁業ではホッケの漁獲制限を遵守し海中還元を行っています。



▲館山一家とリース漁船

3. 関係者の声

・借受者である館山さんは、各種漁業部会に積極的に参加し、地元地区の救難所員の活動と海難防止活動を行っています。また、ほたて生産部会の運営委員を務め、日々良いほたて漁場作りに取り組んでいます。リース漁船は、ほたての調査船としても活躍しており、館山さんは、将来的には雄武の浜のリーダーとなってくれと期待しています。

雄武漁業協同組合

大型船の導入により、沖合での養殖に成果あり！

1. リース漁船のポイントとこれからの漁業について

カンパチとマダイの養殖を営んでいますが、平成21年頃から毎年のように沿岸部で赤潮が発生し、カンパチにおいては数千万円の被害を受け、経営が圧迫されていました。

今回、漁船リース事業により大型漁船を導入することができ、赤潮被害のリスクが低い沖合漁場でカンパチ養殖ができるようになり、赤潮による被害を軽減できるようになりました。

平成30年7月豪雨では、沿岸漁場で甚大な被害があったにもかかわらず、沖合漁場においては被害を大幅に軽減することができ、予想以上の効果をもたらしています。

【27補正予算】

借受者：濱場得弘さん（57歳）
 所属：高知県 すくも湾漁業協同組合
 漁業種類：養殖業
 漁船名：万栄丸（17トン）
 中古船・FRP漁船
 リース開始日：平成29年1月

2. 浜プランに沿った取り組みについて

養殖経営も厳しい時代で、廃業する業者も多く、後継者や担い手の育成は、経営が安定していなければ、取り組むのが難しいものです。そのためにも自助努力も必要ですが、様々な制度も利用し経営の安定化に取り組んでいます。



▲濱場さんとリース漁船

3. 関係者の声

- ・借受者である濱場さんは、赤潮や自然災害の被害からの復興の際には率先して先頭に立ちました。その姿勢を後継者も引き継いでくれるものと期待しています。

すくも湾漁業協同組合

若き漁業者、リース漁船で水揚げ増をめざす！

1. リース漁船のポイントとこれからの漁業について

リース漁船導入により、これまで使用していた漁船に比べ、船体補修やエンジン・機器の整備等の経費が大幅に削減され、ランニングコストが低減されたとともに、省エネ性能・省エネ船体仕様を兼ね備えた装備を導入したことにより、漁業支出が削減されました。

また、最新機器を導入することで、ピンポイント操業が可能となり、併せて操業範囲も拡大され、漁獲量の増大が期待できます。



▲サワラを抱える畑中さん

【27補正予算】

借受者：畑中省吾さん（25歳）
 所属：福岡県 糸島漁業協同組合
 漁業種類：釣り・刺し網漁業
 漁船名：鶴丸（4.8トン）
 新船・FRP漁船
 リース開始日：平成29年10月

2. 浜プランに沿った取り組みについて

釣りの主体であるサワラ等漁獲物の高鮮度化処理の取組（生き締め・神経締め・血抜き処理後の長時間水氷等の温度管理）を徹底し付加価値向上を図っています。

また、資源増大に向けた種苗放流や食害生物駆除、海底清掃等の取組に参加し、併せて漁場の効率的な操業体制に取り組んでいます。



▲リース漁船 鶴丸

3. 関係者の声

・借受者である畑中さんは、リース漁船導入により、ピンポイントの漁場移動、また少々の時化でも操業可能となったため、水揚げ増大に繋がっています。

特に、中核的な漁業者として、率先して高鮮度処理を行い付加価値向上に積極的に取り組み、糸島ブランド向上に努めています。

糸島漁業協同組合

京都から鴨川市に移住し、漁業に従事！ 「鴨川モデル」

1. リース漁船のポイントとこれからの漁業について

まき網漁業に従事後、中古漁船を手に入れて操業をしていましたが、漁船の老朽化が進み、漁船の維持費が割高となり、作業スペースも狭く、効率が悪いものでした。

機関、機器の入れ替えも検討しましたが、今の漁船では、自分の思い描いた漁業を行うのは難しいと考えていたところ、漁船リース事業を知り、応募したところ、計画が承認され、リース漁船を導入することができました。

リース漁船は、船体、機関及び機器類が最新であり、燃費の向上、速力アップ、操業海域での探索や漁労作業の効率が向上しました。

リース漁船導入から1年ですが、カツオ釣り漁業の感触がつかめてきましたので、今後は漁業所得の向上をめざします。

【28補正予算】

借受者：中原敬司さん（40歳）

所属：千葉県 鴨川市漁業協同組合

漁業種類：カツオ一本釣り、キンメ立縄他

漁船名：真昌丸（7.9トン）

新船・FRP 漁船

リース開始日：平成30年7月

2. 浜プランに沿った取り組みについて

鴨川の小型船漁業者は、高齢化が進み廃業していく者もいますが、一方で新たに就業者も多くいる珍しい地区です。

それも後継者ではなく新たに起業するのです。然しながら、いきなり新造船とはいかないので、中古船を購入するような形を執ります。浜プランでは雇用型漁業から小型船漁業への着業を推進した実績がありこれを「鴨川モデル」として他地区も普及を目指しています。



▲リース漁船 真昌丸



▲中原さん

3. 関係者の声

・借受者である中原さんの故郷は京都で、いわゆる移住組です。鴨川には、まき網漁業や定置網漁業の様な雇用型の漁業が有り、中原さんのように移住者が漁業に従事することは珍しいことではありません。

中原さんは、まき網漁業に従事した後、平成25年に独立しました。現在は、小型で操業し、地元や他地区の漁業者との交流を大事にしています。今後は地元のリーダー的存在として、また、新規就業者の良きアドバイザーとして、活躍することを期待しています。

鴨川市漁業協同組合

高鮮度の漁獲物水揚げで、収入増をめざす！

1. リース漁船のポイントとこれからの漁業について

以前に所有していた漁船は古く、修理費、漁船・漁具費が毎年増加していた、また、燃料消費量も多く、魚価の低迷も重なり、安定的な漁家経営が難しくなっていました。

今回、導入したリース漁船は、省エネ船型による燃費の向上と機器類の性能向上により、漁場までの往復時間の短縮ができ、ガザミやエビ類を高鮮度で水揚げすることができ、収入増につながっています。



▲北川さんとリース漁船

【28補正予算】

借受者：北川壽一さん（45歳）

所属：愛知県 日間賀島漁業協同組合

漁業種類：小型機船底びき網漁業

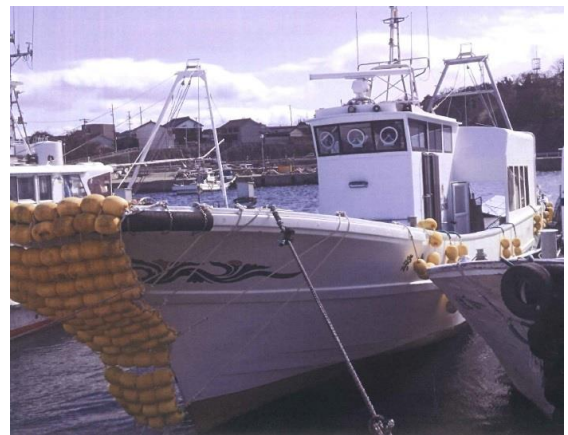
漁船名：栄伸丸（14トン）

新船・FRP漁船

リース開始日：平成30年3月

2. 浜プランに沿った取り組みについて

広域浜プランにおける経営基盤強化の取組みも漁船リース事業を活用することで、今後は安定した漁業経営が可能となると思われます。



▲リース漁船

3. 関係者の声

・リース協会や漁協などからは、中核的漁業者として若い世代の漁業者の模範であり、更に資源管理に取り組むことで、資源の有効活用を図り、将来においても安定した漁労活動ができ、地域の活性化と発展に貢献しており今後の活躍に期待しています。

日間賀島漁業協同組合

魚介類に一手間かけて、収入アップをめざす！

1. リース漁船のポイントとこれからの漁業について

平成22年に漁業に就業し、中古漁船を手に入れ、操業していましたが、老朽化したエンジンに不安な思いでいました。

今回、漁船リース事業は、艀装を含めた総費用に対し、1/2の助成が有ることを知り、応募したところ、計画が承認されました。

リース漁船を導入して、1年が経過しましたが、船体が以前より大きくなり、船上での漁労作業の効率化が格段に向上し、安全に操業できるようになりました。

また、養殖トリガイの作業では、大量のコンテナを容易に運搬でき作業時間の短縮が図れ、全ての漁労作業が安全かつ容易になったことから多角的な操業ができるようになり、1日を有効に使えます。

【28補正予算】

借受者：本藤 靖さん（57歳）

所属：京都府漁業協同組合

漁業種類：釣り、延縄、桁曳網、刺網、養殖

漁船名：要丸（2.2トン）

新船・FRP漁船

リース開始日：平成29年10月

2. 浜プランに沿った取り組みについて

沢山獲る漁業から、持続可能な資源管理型の漁業へ早急に移行していく必要があり、また獲った魚介類に手間をかけ付け加価値を上げ、漁業者の努力が見える売り方により漁家収入を高めていく事が担い手育成にとって重要です。



▲リース漁船 要丸



▲借受者 本藤さん

3. 関係者の声

・借受者である本藤さんには、中核的漁業者として、京都府の「浜の活力再生広域プラン」に掲げられている丹後トリガイの厳選な選別、アカアマダイの活〆出荷による高品質化推進等、漁獲物により手間をかけて付加価値の向上を図り、海の京都を更に盛り上げ地域活性化に寄与されることを期待します。

京都府漁業協同組合

若い二人が漁業を引き継ぎ、地区の漁業を牽引！

1. リース漁船のポイントとこれからの漁業について

操業する定置網漁業は、資源管理を行っているにもかかわらず、漁場環境の変化による漁獲の減少、魚価安により、収益性を高める操業形態の改善が喫緊の課題となっていました。所有漁船は古く、修理費は増加し、機関の燃費は悪く、漁労機器は老朽化し操業効率も悪く、安全性に問題が有る船でした。

そこで、機関と漁労機器を更新すべく、漁船リース事業に応募しました。

漁船リース事業で更新された機関は、以前より出力が大きく速力はアップしましたが、燃費効率は良い物であり、漁労機器も作業効率の良い物になりました。

また、漁獲した魚には活〆脱血処理を施し、品質を向上させ、魚価向上を図っています。

【28補正予算】

借受者：畑 藤夫さん（75歳）
所 属：静岡県 南駿河湾漁業協同組合
漁業種類：定置網漁業
漁 船 名：第八相水丸（9.7トン）
中古船・FRP 漁船
リース開始日：平成29年10月

2. 浜プランに沿った取り組みについて

浜の近くに住む子供達でも、目の前の海で何が獲れるのか知りません。色々な魚がいることを教え、興味を持ってもらいたいと思います。そんな中、借受者の息子二人が漁業の傍ら地元若手漁業者と共に、漁協等のイベントで海産物の販売を行い、人気を博しています。



▲リース漁船 第八相水丸



▲畑さん親子

3. 関係者の声

・後継者確保が難しい時代に、二人の息子さんが頑張っている事は、数少ない好事例です。若い二人が、榛南地区の漁業をこれからも牽引してくれることを漁協としても期待しています。

南駿河湾漁業協同組合

リース漁船で、操業の効率化と水揚げ向上！

1. リース漁船のポイントとこれからの漁業について

私が、以前所有していた漁船は古く、台風前後の時化の時には乗組員の安全性を考え、長い間操業をひかえなければなりません。また、作業時に使用する漁労機器は劣化が進み、操業に時間がかかっていたほか、船が小さいため魚倉も狭く、活魚スペースも限られるなど問題がありました。そこで、問題を解決すべく、漁船リース事業に応募しました。

導入漁船は、以前の漁船より大型になり、天候が悪い時でも安定して安全に操業できているほか、網作業時間が短縮できるなど効率化が図られました。

さらに、新たに冷海水装置と強制循環装置を設置し、活かせる魚はできるだけ蓄養し、県外の相場を見極めながら直接販売に取り組み、1割の水揚げ向上につながっています。



▲大漁旗を掲げるリース漁船

【27補正予算】

借受者：宇戸田為二さん（63歳）

所属：宮崎県 北浦漁業協同組合

漁業種類：小型定置網漁業

漁船名：第二十八大日丸（9.7トン）

新船・FRP漁船

リース開始日：平成29年7月

2. 浜プランに沿った取り組みについて

宮崎県の広域プランでは、廃業した定置網漁場への新規参入や再開等を促進していることから、私もこれまでの経験を生かして他経営体の新造船等に対するアドバイスや新漁場での現地指導等、協力を行っています。



▲宇戸田さん

3. 関係者の声

- ・広域委員会および漁協では、借受者である宇戸田さんが、後継者である息子さんの育成とともに、定置網漁業の漁法及び流通販売について他経営体への指導を行うなど、地域全体の活性化に寄与してくれることを期待しています。

北浦漁業協同組合

リース漁船で漁獲増！

1. リース漁船のポイントとこれからの漁業について

所有漁船は、船齢 38 年と古く、補修等の費用が増加し機関、漁労機器も老朽化していましたので、漁船リース事業に応募したところ、計画が承認されました。

導入漁船は、スターンドライブユニットを導入することによって、漁具に擦れや破断がなくなり、漁具費の削減が図れました。また、今まで山形県の定置網では行われていなかった夜間操業を実施することによって、これまでは時化の影響を受けて網の中で擦れてしまっていた漁獲物の品質向上と、操業機会の増加による漁獲高の向上が図れました。新たな取り組みとして活魚出荷を始めるにあたり活魚水槽で使う海水を紫外線殺菌装置によって滅菌し、衛生面に配慮した安心安全な魚を出荷することができます。

【28 補正予算】

借受者：(有)仁三郎

所 属：山形県漁業協同組合

漁業種類：定置網漁業

漁 船 名：嶺神丸（12 トン）

新船・FRP 漁船

リース開始日：平成30年11月

2. 浜プランに沿った取り組みについて

従前より新規漁業就業希望者の受け皿として積極的に希望者の受入れを行っています。なお、来年度は地元高校から2名受入れることが決まっています。また、販路拡大の取組みとして、東京出荷を継続的に行っており、この取組みが実を結びつつあり、販売チャンネルが広がり、関東圏にファンが根付いています。



▲リース漁船 嶺神丸



▲伊関領平さんと家族

3. 関係者の声

- ・(有)仁三郎の取締役である伊関領平さんは、地区漁業者団体の会長を務め、今年度は人工漁礁の新規設置に取り組み、来年度も継続して新規人工漁礁の設置を計画しています。同氏は行動力と実行力があり、未来を担うリーダーとして期待されています。

山形県漁業協同組合

ソナー更新で、競争力強化！

1. リース漁船のポイントとこれからの漁業について

購入後7年(建造後20年)が経過し、ソナーと補機関の更新を漁船リース事業で行いました。

最新のソナーは、魚群探査の範囲が拡大して、効率的な操業を行うことができるようになり、補機関はトラブルが無く、計画通りの操業ができ、航海日数が増え、漁獲量・水揚げの増加を見込むことができるようになりました。



▲リース漁船と河野社長

【27補正予算】

借受者：(有)福德水産

所属：宮崎県 外浦漁業協同組合

漁業種類：かつお一本釣り漁業

漁船名：第七十八福徳丸（119トン）

中古船・FRP漁船

リース開始日：平成29年3月

2. 広域プランに沿った取り組みなどについて

広域プランにある、漁場情報の共有・共同漁場探索等を実行することにより、最短のコースで漁場へ直行し、最新ソナーによる操業を行うことで、新たな漁場情報を各船に提供することができます。



▲リース漁船 第七十八福徳丸

3. 関係者の声

- ・広域再生委員会及び漁協は、本船には所属各船のリーダーとして、先頭に立って頂き、漁場開拓・流通販売等、今後のかつお一本釣り漁業の発展に寄与することを期待しています。

外浦漁業協同組合

リース漁船を駆使して、岸和田の底びき網漁業を引き継ぐ！

1. リース漁船のポイントとこれからの漁業について

私の船には私、弟、2人の息子の計4人が乗組み、沢山の網入れをすることで、組合の中でも1,2を争う水揚げを誇っています。しかし、父から引き継いだ漁船は古くなり、老朽化が激しく、修理費、燃費などの効率の悪い漁船となっていました。そこで、漁船リース事業に応募しました。

導入漁船は、作業スペースが十分に確保でき、船速がアップしたことから、網を曳く回数は1割以上増え、省エネ機関により、燃油代は約10%減少しました。漁獲量は、小エビ資源の減少もあったものの、平年並みに留まりました。

今後は漁協の加工施設を活用し、加工品を道の駅や地元のスーパに出荷したいと考えています。



▲リース漁船 住吉丸

【28補正予算】

借受者：善野晴夫さん（60歳）

所 属：大阪府 岸和田市漁業協同組合

漁業種類：小型機船底びき網漁業

漁 船 名：住吉丸（9.7トン）

新船・FRP 漁船

リース開始日：平成30年6月

2. 浜プランに沿った取り組みについて

岸和田市漁協の若手漁業者は、岸和田の魚のブランド化とマルアジ、スズキ、タチウオなどの鮮魚を漁協の加工場で「開き」、「フィレー」、「味噌漬け」等に加工しています。

今回、広域委員会において25才の息子が中核的漁業者として認められ、漁船リース事業に応募が可能になり、父親としての安心と息子の将来の希望を手に入れることができました。



▲善野さん親子

3. 関係者の声

- ・ 仲の良い兄弟が毎日沖から笑顔で帰って来る。伝統ある岸和田の底びき網を引き継ぐホープたちである。漁協としても引き続き彼らを支えていきたい。

岸和田市漁業協同組合

黒島にUターンして、漁業に取り組む！

1. リース漁船のポイントとこれからの漁業について

高校卒業後島外の民間企業に働いていましたが、Uターンによる漁業への着業を決意し会社を退職しました。

平成27年4月より県市の支援を受け、一本釣りと刺網漁業の技術習得を図り、独立の機会を伺っていたところ、漁船リース事業の活用ができ、独立することができました。

リース漁船には、必要な漁労機器や漁場の情報が備えられており、現在はこれらを活用して漁を行っています。

今後は、地域の漁業者との情報交換や助言を受けながら新規漁場の開拓等に取り組み、漁具等の補修や改良を自ら行うなどコスト削減にも努力していきたいと思えます。



▲リース漁船 大和丸

【28補正予算】

借受者：吉田和彦さん（49歳）

所属：長崎県 佐世保市相浦漁業協同組合

漁業種類：一本釣り、刺網漁業

漁船名：大和丸（4.9トン）

中古船・FRP漁船

リース開始日：平成29年10月

2. 浜プランに沿った取り組みについて

広域浜プランの取組に沿って、地域水産物、特に「西海瀬付恵あじ」のブランド化に取り組むこととしており、これにより、所得向上が図られ、地域漁業の発展や地域の活性化に寄与できるものと考えています。



▲吉田さん

3. 関係者の声

- 借受者である吉田さんは、人口減少とともに漁業者の減少が急激に進み、後継者の確保が難しくなった黒島にUターンしてきた心強い存在です。地域や漁協等が行う様々な取組にも積極的に参画しており、地域の次世代を担う漁業者として期待しています。

佐世保市相浦漁業協同組合

リース漁船で、作業性・安全性・所得の向上を達成！

1. リース漁船のポイントとこれからの漁業について

以前所有していた漁船は、船齢が約40年であり、老朽化が著しく、沖合作業に適さなくなったため、漁船リース事業を活用して、リース漁船を導入しました。

導入漁船は、(1) Vローラーを大型化することで、網換え作業に係る人数を省力化し、作業時間の短縮など作業の効率化を図ることができ、(2) 電装をLEDとすることで明るさが増して、夜間操業時に安全性が向上し、(3) 甲板がフラットデッキになったことで作業性、安全性が共に向上しました。

このようなメリットを活かして、所得の向上を図ることができます。

【27補正予算】

借受者：網代漁業（株）

所 属：静岡県 いたう漁業協同組合

漁業種類：大型定置網漁業

漁 船 名：第三十八鵬漁丸（19トン）

新船・FRP 漁船

リース開始日：平成29年7月

2. 浜プランに沿った取り組みについて

担い手育成については、地元静岡県の漁業高等学園や焼津水産高校の学生を積極的に採用し、若手の人材を育成しています。若手のうち数名は地元漁協の青年部にも加入し、海岸清掃やマダイ・ヒラメの種苗放流事業に取り組むことで地域貢献を行っています。



▲リース漁船 第三十八鵬漁丸



▲泉澤社長と乗組員

3. 関係者の声

- 借受者である網代漁業（株）では、地域の人口が減少傾向にある中、リース漁船の導入などの努力により、若者が働きやすい職場作りを行っています。また、会社として地域の行事に積極的に参加し、地域の活性化に貢献をしています。網代漁業（株）は、これからも、地域の漁業を牽引してくれる存在として、期待をしています。

いたう漁業協同組合

導入漁船で、作業効率と安全性が大幅に向上！

1. リース漁船のポイントとこれからの漁業について

海苔養殖の作業は、摘採船で摘採作業をし、運搬船に積み換え陸揚げを行い、その後活性処理作業のため再び漁場に戻り作業を行うので、1日の大半を海上作業に時間を取られる現状でした。

そこで、摘採作業から活性処理作業を一度に行うことが可能なシステム船を漁船リース事業で導入する計画を申請し、承認されました。

導入漁船では、海上作業時間が大幅に短縮され、燃油の削減や養殖管理作業を重点的に行うことができ、海苔原藻の品質向上に繋がりました。また、乗組員は、ブリッジ内での操船作業となり、安全性が向上しました。

今後は、余裕ができた時間を有効活用し、陸上での海苔加工機器類の整備点検を徹底して行い、海苔製品の品質向上に努め、漁家所得の向上に取り組みたいと思います。

【28補正予算】

借受者：植村隆基さん（40歳）
 所属：熊本県 畠口漁業協同組合
 漁業種類：海苔養殖業
 漁船名：煌（4.2トン）
 新船・FRP漁船
 リース開始日：平成29年9月

2. 浜プランに沿った取り組みについて

平成28度に有明海地区広域浜プランが承認され、県全体の目標である海苔平均単価の向上のため、海上での高品質な海苔づくり、製造段階での衛生管理を徹底し、徹底した養殖管理に取り組んでいます。あわせて海苔消費拡大のため販売PR活動などに参加し、地域の活性化に取り組んでいます。



▲リース漁船 煌



▲植村さん一家

3. 関係者の声

・借受者である植村さんは、畠口地区の海苔生産者で構成する「畠口海苔研究委員会」の役員を務めるなど、漁家所得向上を目的に何事にも積極的に参加しています。また、漁船リース事業を有効活用した畠口地区の模範的リーダーとなることを期待しています。

畠口漁業協同組合

急成長した陸奥湾のほたて貝養殖に、リース漁船で取り組む！

1. リース漁船のポイントとこれからの漁業について

陸奥湾のほたて養殖は、近年、水揚金額が急伸びしましたが、旧型の漁船では積載量が少なく、漁場まで何往復もすることになり、燃油代が増え、漁家収入は増えない状況でした。

そこで、漁船リース事業を活用し、リース漁船を導入しました。導入漁船は、船上の作業スペースが広く、積載量が増えたことから、漁場までの往復回数が減り、燃油代を減らすことができました。また、サイドスラスタを装備したことから、多少の潮流にも流されず養殖施設に接近でき、効率的な作業ができるようになりました。



▲リース漁船 勇栄丸

【28補正予算】

借受者：逢坂勇吉さん（68歳）

所属：青森県 平内町漁業協同組合

漁業種類：ほたて養殖漁業

漁船名：勇栄丸（4.4トン）

新船・FRP 漁船

リース開始日：平成30年3月

2. 浜プランに沿った取り組みについて

広域浜プランには、「ホタテガイ適正養殖可能数量制度」を遵守し、総量規制と大型貝づくりによる母貝確保により、将来にわたりほたて養殖を持続性のあるものとする。導入漁船では、重量のある大型貝への転換が可能となり、単価の向上から収入も増え、更には産卵親貝の確保にも繋がるという好循環が生まれます。

また、高齢化や後継者対策については、船上スペース拡大によるロープの巻き込み事故防止等、安全性が向上します。更には、作業効率向上による労働時間の短縮と省力化により、若い世代が参入し易い環境も用意でき、地域の漁業者にこの事業を勧めたいと考えています。



▲借受者 逢坂さん

3. 関係者の声

- 借受者である逢坂さんは、漁協の理事であり、長年にわたり、ホタテ養殖技術の普及や漁家経営の指導に取り組んできました。また、今回の省エネで作業効率に優れたリース漁船の導入経験を生かし、後継者や新規漁業者の確保に繋げていただけるよう期待しています。

平内町漁業協同組合

期待の新規漁業就業者！

1. リース漁船のポイントとこれからの漁業について

平成 27 年 9 月から、漁業実習生として、ベテラン漁業者に、サバ立縄漁、メジカ曳網漁を中心に、漁具の作り方、潮や風の見方、漁場の選定といった漁法、市場の魚価の状況、季節による漁業など様々なことについて、指導を受けてきました。

この度、漁船リース事業を知り、応募したところ、計画が承認され、リース漁船を導入することができました。導入漁船は、船齢が 27 年でしたので、主機の換装、ブリッジなど船体の改造、レーダー、魚探などの更新を行いました。

導入漁船は、メジカ漁に適した仕様になっているので、現在はメジカ漁に力を入れて操業していますが、ベテラン漁業者のアドバイスを受けながら、様々な漁に対応できるよう、練習をしています。

経費面については、大きな割合を占める燃油について、漁場まで多少時間かかったとしても、経済速度で航行することを心がけています。

2. 浜プランに沿った取り組みについて

就業希望者の掘り起こしから育成までの一貫したサポートの取り組みに参加しています。

また、冷海水装置を活用した鮮度管理を行い、魚価の向上を目指すと共に、市外・県外への活魚の流通販売事業に寄与していきたいと思えます。

【28補正予算】

借受者：山上俊也さん（35歳）
所属：高知県漁協 清水統括支所
漁業種類：一本釣り漁業
漁船名：太陽丸（4.6トン）
中古船・FRP 漁船
リース開始日：平成29年9月



▲水揚げ中の山上さんと太陽丸

3. 関係者の声

・借受者である山上さんは、新規就業者として2年間勉強したことを実践で活かし、高齢の先輩を引っ張って沖に出ることもある。既に一人前の漁業者に近くなっており、昨年は、キンメ漁も行い、釣れる魚を今の内から一度経験し、自分に合っている漁法を選んで行きたいと前向きな考えを持っており、将来有望である。

高知県漁協 清水統括支所